

アメリカ哲学フォーラム 第10回大会プログラム

日時：2023年11月3日（金・祝）・4日（土）

会場：信州大学教育学部 [信州大学 長野（教育）キャンパス]

参加費：一般 4,000円 学生・非常勤 2,000円（懇親会費は別途）

ウェブ：<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/apforum/conference.html>

【事前申込（期限：10月25日）にご協力ください】

お問い合わせ：americanphilosophyforum10th@gmail.com（アメリカ哲学フォーラム第10回大会開催校）

- * 大会期間中、生協売店・食堂の通常営業はございません。昼食は持参されることをお勧めします。
- * 会場から徒歩5分程にローソン長野信大教育学部西店、徒歩7分程にセブンイレブン長野花咲町店がございます。
- * 少人数のスタッフにて対応のため、案内板・掲示等は最小限にさせていただきます。交通アクセスやキャンパスマップについてはこちらをご参照ください。
 - 交通アクセス https://www.shinshu-u.ac.jp/access/nagano_education/#address
 - キャンパスマップ https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/guide/nagano_education/#campusmap

第一日目：11月3日（金・祝）

【受付開始】12:30—

【研究発表 I】13:00—14:20（会場：N201 講義室 [北校舎講義棟 2階]）

司会者：TBA

1) 13:00—13:40

楨野 沙央理（大正大学）「いかに『探究』において「日常性」は主体の問題となるのか」

2) 13:40—14:20

笹倉 暢之（慶應義塾大学）「スタンリー・カヴェルの「生活形式」解釈と生の変貌」

【休憩・移動】14:20—14:30

【大会企画】14:30—17:30（会場：N301 講義室 [北校舎講義棟 3階]）

「哲学の実践性を問い直す」

パネリスト：

馬場 智一（長野県立大学）「哲学の居場所」

吉田 幸司（クロス・フィロソフィーズ株式会社）「哲学コンサルティングの実践と展望——
人文系博士の起業事例」

嘉指 信雄（広島市立大学）「鶴見俊輔が読んだジェイムズとデューイ——思想の“成長的な
見方”と人間の“どうしようもなさ”をめぐって」

司会者：

齋藤 直子（京都大学）

【懇親会】18:00—20:00（会場：生協食堂）

第二日目：11月4日（土）

【受付開始】 9:15—

【研究発表 II】 9:30—11:30 （会場：N219 演習室 [北校舎研究棟 2 階]）

司会者：TBA

3) 9:30—10:10

渡辺 一樹（東京大学）「多元主義的批判理論：ウィトゲンシュタイン左派の方法」

4) 10:10—10:50

中川 和彦（東京大学）「Nozick の豊饒性原理と自己包摂性について」

5) 10:50—11:30

阿部 裕彦（無所属）「無限主義としてのデフォルトとチャレンジの構造」

【総会】 11:30-12:00 （会場：N219 演習室 [北校舎研究棟 2 階]）

【昼休憩】 12:00—13:00

【研究発表 III】 13:00—15:00 （会場：N219 演習室 [北校舎研究棟 2 階]）

司会者：加藤隆文（大阪成蹊大学）

6) 13:00—13:40

安永 光希（東京大学）「パースにおける連続体としての認識」

7) 13:40—14:20

Jimmy Aames（芝浦工業大学）「第二性としての独在性：パースと永井均」

8) 14:20—15:00

大厩 諒（中央大学）「W・ジェイムズと汎心論の微妙な関係」

【休憩】 15:00—15:10

【研究発表 IV】 15:10—17:10 （会場：N219 演習室 [北校舎研究棟 2 階]）

司会者：TBA

9) 15:10—15:50

吉田 廉（東京大学）「言語的観念論とロマン主義」

10) 15:50—16:30

村山 正碩（一橋大学）「芸術作品が鑑賞者の心を表現するとき：分析美学とコリングウッド」

11) 16:30—17:10

木本 蒼（京都大学）「哲学における自伝」